受賞者からのコメント

●　授業を行うにあたって工夫していること

講義内容は、内科学全般で膨大な量に及ぶが、その後の看護学履修に当たり必須の知識を含むものであるので、特に理解して欲しい事柄が記憶に残るようにメリハリを持つように心がけている。講義では図表を多くし、実際の症例や国家試験問題を提示して興味が続く様にしています。

●　学生への要望・アドバイス等

疾病治療論の講義内容は少し難解だと思うが、学生はよく勉強しています。
質問は welcome です。
知識にはキリがありませんが、講義のあと教科書のその部分を通読してみてください。
後での知識量が全然違います。
知識は実習（臨床）での必要以上の不安を軽減します。